

# パスハのトロパリ

司祭の声が高い時

ハリス トス 死より 復 かつ し 死を 以て 死を 滅 ぼ ー し

は かに ある もの に い の ち を た ま え り

①

ハリス トス 死より 復 かつ し 死を 以て 死を 滅 ぼ ー し

ハリス トス 死より 復 かつ し 死を 以て 死を 滅 ぼ ー し

は かに ある もの に い の ち を た ま え り

は かに ある もの に い の ち を た ま え り

①

ハリス トス ヴオスクレセ イズメールト ヴィ スメール チ エ スメールチ ポ ヲ ラ ヲ

ハリス トス ヴオスクレセ イズメールト ヴィ スメール チ エ スメールチ ポ ヲ ラ ヲ

イ ス シ チ ム ヴオ ラ バ ヲ ジ ヴオ ト ダ ロ ヴァ

イ ス シ チ ム ヴオ ラ バ ヲ ジ ヴオ ト ダ ロ ヴァ

3回

**T** (司祭) 光栄は一世にして光を  
 (司祭) 「ハリストス死より」3回歌う (詠) 「ハリストス死より」3回

(司) ① か み は 興 き そ の あ だ は 散 る ベ ー ー し

彼を <sup>にく</sup> 悪むものは そ の かんばせ より 逃 ぐ ベ ー ー し  
 (詠) ハリストス死より

(司) ② 煙の散る が ご と く 爾彼ら を 散 ら し た ま ー ー え  
 (詠) ハリストス死より

(司) ③ 蠟 <sup>ろう</sup> が 火によりて 解くるが ご と く か く 悪人等は  
 神の <sup>かんばせ</sup> 顔 に 因りて ほろび た だ 義人は <sup>たの</sup> 楽し む ベ ー し  
 (詠) ハリストス死より

(司) ④ 主はその日をつくれり 我等これをよろこび たのしまん  
 (詠) ハリストス死より

(司) ⑤ 光栄は父と子と 聖神 に 帰す いまも いつも 世世に ア ミン  
 (詠) ハリストス死より  
 (司) ハリストス死より… (詠) 墓に在るものに

# パスハのトロパリ

日本語



ハリストス 死より復かつし 死を以て 死を滅ぼし



はかにあるものにいのちをたまえり

②

ハリストス 死より復かつし 死を以て 死を滅ぼし

はかにあるものにいのちをたまえり

スラブ語

ハリス トス ヴオスカ レセ イズメール ヴィ スメール チュ スメールチ ポラッ

イスシチム ヴオラ バッ ジ ヴオト ダ ロヴァ

**B** (司祭) 光栄は一世にして光を  
 (司祭) 「ハリストス死より」3回歌う (詠) 「ハリストス死より」3回

(司) ① か み は 興 き そ の あ だ は 散 る ベ ー ー し

に  
 彼を 悪むものは そ の かん ば せ よ り 逃 ぐ ベ ー ー し

(詠) ハリストス死より

(司) ② 煙の散る が ご と く 爾 彼 ら を 散 ら し た ま ー ー え

(詠) ハリストス死より

ろう  
 (司) ③ 蠅 が 火によりて 解るが ご と く か く 悪人等は

かんばせ たの  
 神の 顔に因りて ほろび た だ 義人は 楽しむ ベ ー し

(詠) ハリストス死より

(司) ④ 主はその日をつくれり 我等これをよろこび たのしーまん

(詠) ハリストス死より

(司) ⑤ 光栄は父と子と 聖神 に 帰す いまも いつも 世世に ア ミ

(詠) ハリストス死より

(司) ハリストス死より... (詠) 墓に在るものに